

学 年	3年 4年	時 間	学級活動 「救急クイズ!こんな時どうする?」	時 期	1月	時 数	1時間(45分)
本時目標	応急手当の仕方を理解し、今後の生活に生かすことができる。						
資料・準備	3年 算数「表とグラフ」・4年 算数「調べ方と整理のしかた」で作成した資料、または、各校のけがの実態を養護の先生が集計した資料、各学校の実態で編集し直したPPスライド資料						

単独・算数と関連のいずれの場合も、養護の先生直接指導または養護と担任のTTが適切と考える。

<算数と関連させて、横断的に扱う場合>

3年 算数「表とグラフ」→〇〇小学校のけがの実態(〇月1ヶ月の月日順、または、月毎に集計した4月～授業実施の前月までのけがの種類一覧表)を準備

- ① 表づくり
- ② 作成した表をもとに棒グラフ作成
- ③ (学級活動)②で作成した棒グラフを使って救急クイズ(本授業)を実施(本時 第5時 or 6時)

4年 算数「調べ方と整理のしかた」→〇〇小学校のけがの実態(〇月1ヶ月の月日順、または、月毎に集計した4月～授業実施の前月までのけがの種類と場所または、けがの種類と学年一覧表)を準備

- ① 二次元の表にまとめる。
- ② 作成した二次元の表から問題を解決する。
- ③ (学級活動)①で作成した二次元の表を使って救急クイズ(本授業)を実施(本時 第5時)

展開

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	1 応急手当の仕方について学習することを知る。 ◇今まで、どんなけがをしたことがありますか。 ◇そのときどうしましたか。けがをしたとき、どのような手当をしたらよいか考えてみましょう。	○日常生活をふり返り、自分が経験したことや見たことがあるけがについて出し合うようにする。
展 開	2 けがの正しい手当の仕方について考える。 ◇これまでにけがをして困ったことはありませんか。 ・鼻血が出て、止まらなくて困った。 ・妹と散歩に行き、妹が転んで泣いて困った。 ・足を打って痛くて歩けなくて困った。 ◇こんな時、今までどうしてましたか。(実態把握)(切り傷・すり傷)→①か②に挙手(鼻血)→同様 <算数と関連させて学級活動実施の場合> ◇わたしたちの学校のけがベスト3は、さて何でしょう。算数で学習した中でベスト3を言いましょう。 1位(), 2位(), 3位() <算数と関連なく単独に学級活動で実施の場合> ◇わたしたちの学校のけがベスト3クイズをします。さて、けがベスト3は何でしょう? (例) 1位(すりきず) 2位(だぼく) 3位(ねんざ) ◇正しいけがの手当について考えていきましょう。 ◇応急手当クイズをします。 ①すりきずの手当ての仕方 ②鼻血の手当ての仕方 ③だぼくの手当ての仕方 ④つき指の手当ての仕方 ◇けがをしたときに大事なことは、どんなことですか。 予測する 落ち着く 決まりを守る	○手当の仕方を正しく知ることの必要性をおさえる。 ○自分が今までけがをして困った経験を想起させる。 ○今までどうしていたか挙手把握(スライド) ○自校の実態から、けがに関心を持たせる。 ○それぞれのけがについて補足説明をする。 ○PPスライドを提示しながら進める。 <単独に学級活動で実施の場合> ○クイズ形式で答えさせ、けがに対する意識を持たせたい。 ○事前に教員が集計しておき提示する。 ○日常的に起こりやすいけがについて、クイズで手当の方法を確認する。 ☆けがの的確な把握とその対応がわかる。 ☆簡単な手当のしかたがわかる ○血液の扱い(自分以外の人への血液には素手でふれないこと)についても触れておく。 ○けがをしたときには、けがの種類や程度を速やかに把握すること、近くのおとなに知らせることの大切さを理解させる。 ○防災につながる大事な態度としておさえる。
ま と め	3 今後の生活に生かしていくことを確認する。 ◇今日の学習でわかったことを発表しましょう。	○授業の初めに発表した、困ったことも今日の学習で解決できることを確認する。

関連する 教科・領域等	3年 算数「表とグラフ」 4年 算数「調べ方と整理のしかた」
題材・指導案等	平成23年度鳥取型防災教育モデル校(大山西小学校)のH23・24年度3年救急クイズの実践を参考に作成